

病虫害発生予察情報

4 月 月 報

平成 10 年 5 月 31 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況

4 月	気 温						降 水 量		日 照 時 間	
	最 高		最 低		平 均		(mm)		(h)	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比(%)	本年	平年比(%)
上旬	14.6	- 1.3	6.3	- 0.4	10.6	- 0.8	102	302	34.2	
中旬	21.7	4.4	13.3	5.4	17.2	4.6	60	119	37.6	
下旬	22.6	2.5	15.1	5.1	18.7	3.7	29	81	32.5	
平均	19.7	1.9	11.6	3.4	15.5	2.5				
合計							191	159	104.3	63

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：平年値(1961～1990年の平均値)からの差(比)

気 温：上旬は平年より低めであったが、中、下旬はかなり高かった。

降 水 量：上旬は平年よりかなり多かったが、中、下旬は平年並であった。

日照時間：月を通して平年より少なかった。

<天候概況>

4月の天候は月を通して曇りや雨の日が多かった。気温は中、下旬でかなり高めで推移した。

2 作物生育概況

(1) ムギ(コムギ)

出穂期は平年と比べて 2 週間ほど早まった。

(2) 果菜類 施設トマトの生育は順調であった。

葉菜類 秋まきキャベツの一部で早期抽台が発生した。ホウレンソウ、コマツナの生育は順調であった。

根菜類 ダイコンの生育は順調であった。

(3) 果 樹

ナ シ 開花期は昨年とほぼ同じであり、平年よりも 1 週間ほど早かった。

ブドウ 発芽期は昨年とほぼ同じであり、平年よりも 1 週間以上早かった。黒とう病の発生がやや多かった。

ウ メ 開花時期が平年よりやや早かったことと、開花時期の降雨により、着果率は地域によっては平年以下であった。

(4) 茶 樹 茶芽の伸育は 1 週間程度早まった。

3 病害虫の発生概況

(1) ムギの病害虫

ムギクビレアブラムシ < 並 > 各地とも発生は平年並であった。

ムギキモグリバエ < 局部やや多 > 立川市の一部で発生がやや多かった。

(2) 果樹の病害虫

ナ シ

赤星病 < やや多 > 各地とも発生はやや多かった。

アブラムシ類 < やや多 > 各地とも発生はやや多かった。

ハマキムシ類 < 少 > 各地とも発生は少なかった。

ウ メ

アブラムシ類 < 多 > 各地とも発生は多かった。

カイガラムシ類 < 多 > 各地とも発生は多かった。

カ キ

カキクダアザミウマ < 少 > 各地とも発生は少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ < 発生時期 早・発生量 やや多 >

予察灯・フェロモントラップとも 4 月第 4 半旬から誘殺された。
トラップでは第 5 半旬で最多トラップで 1 トラップ当たり 18 頭
が誘殺されやや多かった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ < やや多 > 各地とも発生はやや多かった。

(4) 野菜の病害虫

トマト(施設)

灰色かび病 < やや多 > 各地とも発生はやや多かった。

葉かび病 < 並 > 各地とも発生は平年並であった。

オンシツコナジラミ < 並 > 各地とも発生は平年並であった。

アブラムシ類 < やや少 > 各地とも発生はやや少なかった。

マメハモグリバエ < やや少 > 各地とも発生はやや少なかった。

コマツナ

白さび病 < 少 > 各地とも発生は少なかった。

コナガ < 並 > 各地とも発生は平年並であった。

ナモグリバエ < 多 > 各地とも発生は多かった。

カブラハバチ	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
ネギ		
さび病	< 少 >	各地とも発生は少なかった。
アブラムシ	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
スリップス	< 少 >	各地とも発生は少なかった。
ハモグリバエ	< 少 >	各地とも発生は少なかった。
ネギコガ	< やや少 >	各地とも発生はやや少なかった。
キャベツ		
菌核病	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
コナガ	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
ナス(育苗期)		
ワタアブラムシ	< やや少 >	各地とも発生はやや少なかった。
ナミハダニ	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
イチゴ		
ワタアブラムシ	< やや少 >	各地とも発生はやや少なかった。
レタス		
ナモグリバエ	< やや多 >	各地とも発生はやや多かった。
キュウリ(育苗期)		
タネバエ	< やや少 >	各地とも発生はやや少なかった。
ワタアブラムシ	< やや少 >	各地とも発生はやや少なかった。
施設共通		
マメハモグリバエ	< 未発生地多 >	一部地域を除き各地とも発生は認められなかった。

(5) 植木の病虫害

マツ		
マツカキカイガラムシ	< やや多 >	各地とも発生はやや多かった。
エダマツカサアブラムシ	< 多 >	各地とも発生は多かった。
サクラ		
サクラコブアブラムシ	< やや少 >	各地とも発生はやや少なかった。
オオヨコバイ	< 多 >	各地とも発生は多かった。
ヒラギモクセイ		
テントウノミハムシ	< 多 >	各地とも発生は多かった。

(6) 花き類の病虫害

キク		
ナモグリバエ	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
ガーベラ・サイネリア・ペチュニア・マリーゴールド・ダリア・キンギョソウ(施設)		
オンシツコナジラミ	< 少 >	各地とも発生は少なかった。
ナモグリバエ	< やや多 >	各地とも発生はやや多かった。
花き類共通		
ミカンキイロアザミウマ	< 少 >	各地とも発生は少なかった。
灰色かび病	< 一部やや多 >	一部地域で発生はやや多かった。
ハダニ類	< 並 >	施設内で各地とも発生は平年並であった。

テレフォンサービス

042(525)8407

病虫害の発生予報、発生状況、
防除方法をお知らせしています。